

### 【温泉街別府】(三) 別府で“湯遍路”を楽しみませんか？

別府での温泉の楽しみ方に、「別府八湯温泉道」というものがある。ホテルや旅館、あるいは市営温泉、自治会や公民館などが運営する街中の共同温泉を巡って、スタンプを集めると段位が授与されるシステムで、お遍路ならぬ「湯遍路」として市外からの入浴客が多い。普通、お遍路とは、祈願の目的で、四国の弘法大師空海の霊場八十八箇所を巡り歩き、一番札所霊山寺から順番にまわって最後は大窪寺となり、八十八札所をすべて巡ると「結願」「満願」というのだが、「湯遍路」は、88か所の温泉浴場を巡る。ちなみに、神社や仏閣など聖地、霊場をめぐる「巡礼」という表現もあり、四国に限らず、日本全国各地にそのスポットがあるが、最近ではアニメなどの聖地を巡礼する楽しみ方も話題になっている。

そのお遍路、巡礼にあやかって、別府の温泉を味わい尽くす「志高き温泉好き」を増やそうと、民間の有志が考え出した企画が「湯遍路」で、スタンプが8つ集まると初段に認定され、その後も8湯ごとに2段、3段と昇段し、見事88か所を巡ると温泉道名人として、市内の民間温泉施設の休憩所にある「温泉殿堂」入りを果たし、肖像写真が永年展示される。



湯遍路に欠かせない温泉本とスパポート

スタンプを押す手帳のネーミングが面白い。その名も「スパポート」。もちろん無料ではなく税込み100円を支払はなければ手に入らないが、別府駅の観光案内所や書店などで買うことができる。そして、肝心なのは温泉道に必要なガイドブック。別府八湯「温泉本」というタイトルで、これも書店やコンビニに行くと定価550円で販売されている。この本がなぜ必要かという、温泉道の対象となる約140施設が掲載されているため、地図や

温泉にまつわる様々なコンテンツが豊富に掲載されている。特に見逃せないのが巻末の入湯無料券や半額券、割引券のチケット。



スパポートの巻末にある無料・割引券チケット

何しろ、ホテルや旅館で泊まらずにスタンプ目的だけで入浴すると、500円の入館料が必要なので、このガイドブック 1冊あれば、元は十分に取れる。つまり、入湯無料券で温泉道に指定されたホテルや旅館で温泉を満喫し、湯上がりに設置されたスタンプを押して 1湯入ればお得というわけ。ただ、日本では新型コロナがまだ収まっておらず、別府への観光客が激減していることから、ガイドブックは休刊状態。ワクチン接種でコロナ禍が一息つきそうな今秋あたりには、新しいガイドブックがお目見えするだろう。

泉質、ロケーション、入浴スタイルとそれぞれ個性ある温泉制覇を目指して、有段者になることを目的に、県外からも訪れる湯遍路の巡礼者も多いが、ちょっと残念なことがある。なんと 2020 年 10 月から市営温泉 15 の施設の入浴料を一斉に値上げしたからだ。その値上げ幅は 30~220 円で、国の登録有形文化財で外国人観光客も多い「竹瓦温泉」では、

110 円だったのが 330 円になってしまい、困ったものだ。

別府市では 2019 年にも、ホテルや旅館などの入湯税を 150 円から、最大 500 円に値上げしたばかり。「湯遍路」を楽しむ市外からの巡礼者にとって、入湯料の値上げは負担となってしまうが、それだけの価値は湯遍路にはあるはず。別府に訪れた際にはぜひ、温泉道の名人を目指していただきたいものだ。



8 か所達成で授与される初段のタオル（左）と見事 88 か所巡り終われば、金糸で刻まれた温泉道名人のタオルが！

文/图：鈴木源柱